

単元名

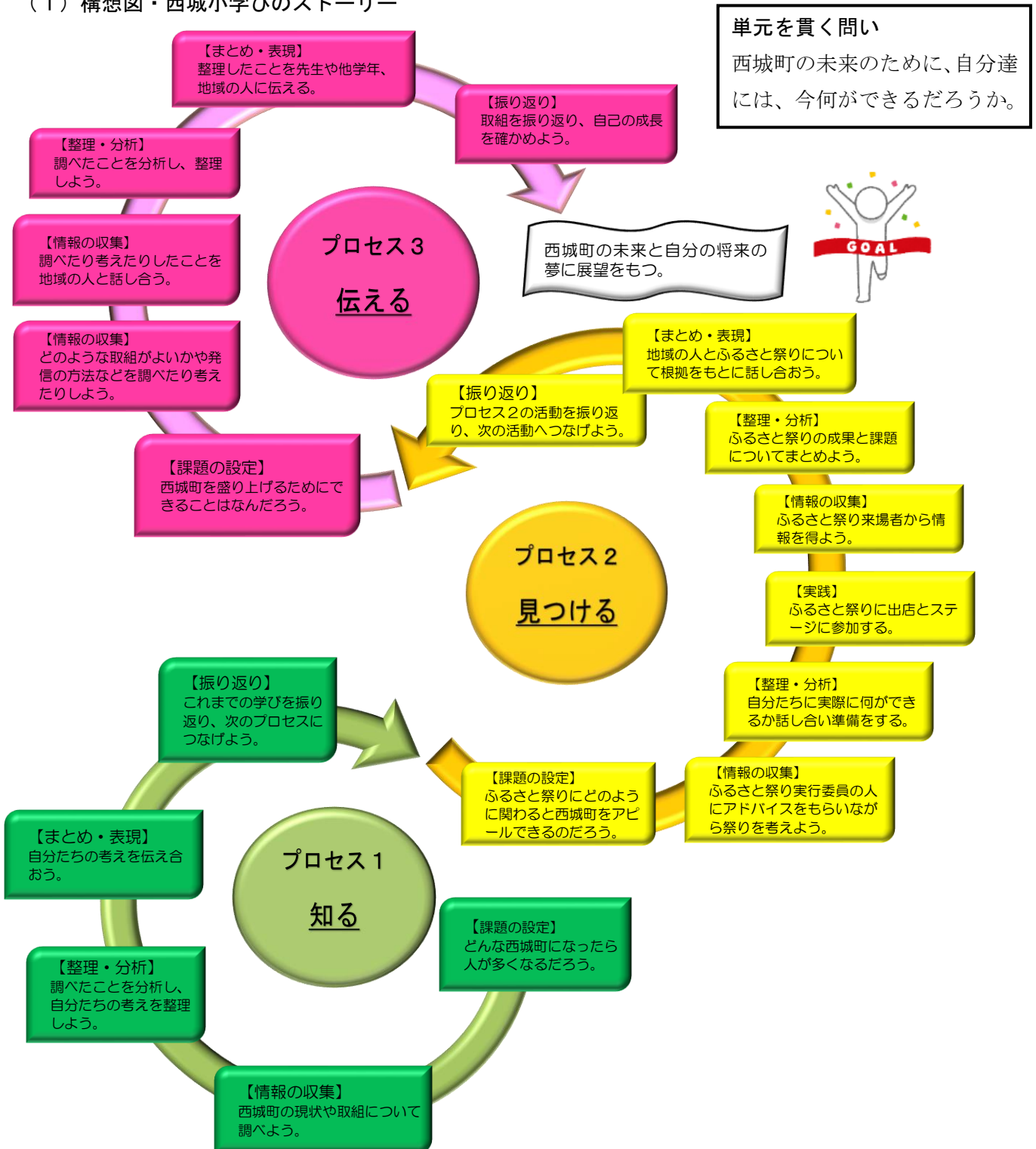
# 「西城町の未来を創造しよう」 ～地域の人々の想いをつなぐ～

本単元で育成する資質・能力

- ①主体性 ②協調性 ③課題解決力

## 1 単元について

### (1) 構想図・西城小学びのストーリー



## ストーリーの流れ

第6学年では、西城町の現状や取組からいいところや課題について考えたり、地域の人たちの西城町に対する思いを聞いたりして、西城町の未来を自分事として考え将来の夢に展望をもつことを目標として活動していく。

まず、「知る」をテーマとして、「西城町の人口が増えるにはどうしたらいいか」を課題に西城町の現状や取組について調べる。また、地域の人と連携して西城町について話をしてもらい西城町の課題を捉える。

次に、「見つける」をテーマとして、「ふるさと祭り（地域のイベント）で西城町をアピールするにはどうしたらいいか」を課題にして実際にふるさと祭りに参加し、実践して気づいたことや考えたことをまとめる。そして、地域の人たちがどんな思いでふるさと祭りを開催しているのかを知ることによってふるさと祭りの意義を考えさせたい。

最後に、「伝える」をテーマとして西城町を盛り上げるためには何ができるのかを考える。ふるさと祭りをはじめ、自分たちが地域とどう関わっていくと西城町がより良くなるか、より元気になるかを自分たちだけでなく、地域の人たちと一緒に考えまとめていく。まとめたことを5年生や地域の人たちにプレゼンをするを通して、西城町の未来と自分の将来の夢に展望をもたせるようにする。

## (2) 児童観

本学級の児童は第5学年時に西城町の特産物である「グリーンフィールドのアイスクリーム」について調べ、アイスクリームの特徴やお店の人の考えや思いについてまとめてきた。また、アイスクリームの新商品についても考え、販売には至らなかったが実際に作ったり、試食をしたりしている。

本校で育てようとする資質・能力の具体について実施したアンケートは以下のような結果であった。

資質・能力	アンケート項目	肯定的評価の割合	
		5月	7月
主体性	授業で分からないところは質問したり、家庭学習で調べたりしようとしています。【主体性】	69%	69%
	将来の夢や目標をもっています。【将来】	62%	62%
	身の回りの生活や地域社会での出来事に関心をもち、地域で開催される行事には内容によっては参加しようと思っています。【社会参画】	77%	69%
協調性	ペアやグループの話し合いでは、友達の意見や考えを聞いたり、自分の考えを話したりしようとしています。【相互の理解】	69%	92%
	ペアやグループの活動や地域の方と関わる時には、協力しながら取り組もうとしています。【協働】	77%	69%
課題解決力	課題解決に向けて、集めた情報を複数のまとまりに分類しながら解決方法を考えています。【情報収集・整理】	77%	85%
	スピーチやプレゼン以外の表現方法も考えて伝えることができます。【工夫してまとめ表現】	70%	70%
	学習の振り返りをするときには、何を学んだのか、どのように課題を解決したのか振り返り、「もっと考えてみたいこと」「もっと工夫してみたいこと」などを整理しています。【振り返り】	54%	70%

この結果から、相互理解については肯定的に考えている児童が多い。基本的にペアトークやグループワークで授業を進めたり、委員会や縦割り班活動など最高学年として活動したりしていることが成果につながったと考えられる。また、振り返りにおいても5月に比べて肯定的評価が上がっている。振り返りの時間をしっかりとるようにしているのが成果につながったと考える。

しかし、将来や協働については課題があると考えられる。友達同士の話し合い活動では肯定的だが、地域の人との話し合いになると数値が下がっている。地域の人と話し合いはどうしたらいいのか考えさせたり、地域の人と触れ合う時間を増やしたりしていきたい。

### (3) 指導観

本単元の指導に当たっては、次のことに留意して行う。

- ・西城町の良さや取組、課題について詳しく調べることを通して、その魅力に気付かせる。
- ・地域の人たちの西城町に対する思いや願いを知り、自分たちには何ができるのか考えさせる。
- ・実際に地域のイベントに参加し、イベントの意義について根拠をもとに考え、地域の人と話し合いをすることで考えをまとめていく。
- ・伝えることの必然性と相手意識をもたせる。

自分たちが調べたこと、知ったこと、体験したことから、西城の未来を自分事として捉え、さらに「こうしたらどうか。」という提案を考えさせる。そして、なぜ伝えるのか、誰に伝えるのかなど相手意識、目的意識を明確にすることで、よりよい表現方法を選択させる。

- ・教科横断的な単元作りを行う。

国語科では資料の整理・分析やまとめ方について、道徳科では郷土愛の学習など、様々な教科と柔軟に関連付けながら、学習を進める。

## 2 ストーリーの目標

- ・西城町のために活動する人々の思いや願い、工夫などに気付き、自分たちにもできることを考え西城町の魅力をより実感し、西城町の未来や自分の将来について考えることができる。

## 3 総括的な評価の方法

### (1) ストーリーのゴールイメージ

西城町を盛り上げるために自分たちに何ができるか考え、根拠をもとに5年生や地域の人たちに伝える。そして自分が将来どう西城町に関わることができるか具体的に考えることができる。

### (2) ルーブリック

評定	児童の姿
A	西城町を盛り上げるために自分たちに何ができるか根拠をもとにして自分の考えをもちグループで話し合い、自分の将来について展望をもつ。
B	西城町を盛り上げるために自分たちに何ができるか根拠をもとにしてグループで話し合い、自分の将来について考えている。
C	西城町を盛り上げるために自分たちに何ができるかグループで話し合う。

## 4 プロセス2の評価規準と本校で育成したい資質・能力とのかかわり

評価の観点	本校で育成したい資質・能力	評価規準
主体的に学習に取り組む態度	主体性	①西城町を盛り上げようという目的意識や課題意識をもって、意欲的に探究活動に取り組もうとしている。【主体性】 ②西城町を盛り上げようという活動を通して、積極的に地域に関わり、地域の活動に参加しようとしている。【社会参画】 ③西城町を盛り上げようという活動を通して、将来の夢や目標をもとうとしている。【将来】
	協調性	④異なる意見や他者の考えを受け入れようとしている。【他者理解】 ⑤西城町を盛り上げようという活動を通して、友達や地域の方など相手の立場を考え、他者と協働しようとしている。【協働性】 ⑥西城町を盛り上げようという活動を通して、自分のよさや自分にできることを理解しようとしている。【自己理解】

知識・技能		<p>⑦地域のよさと課題及びそれに携わる人々の願いに気付いている。 【知識の概念化】</p> <p>⑧探究的な活動を進める中で、調査活動や情報収集、目的や相手に応じたふさわしい関わり方などについて、それらの手順を様々な場面や状況で活用可能なものとして身体化し安定的に発揮している。【技能の身体化】</p>
思考・判断・表現	課題解決力	<p>⑨自分たちの地域やそこに住む人々の思いに目を向けて課題を見いだすことができる。【課題の設定】</p> <p>⑩目的に応じて手段や方法を選択し、情報を収集したり、必要な情報を選んだりすることができる。【情報の収集】</p> <p>⑪視点を明確にして事象や考えを比較したり関連付けたりして考え、情報を分析することができる。【整理・分析】</p> <p>⑫調べたり考えたりしたことを、相手や目的、意図に応じて工夫してまとめ、表現することができる。【まとめ・表現】</p> <p>⑬学習の仕方を振り返り、学習や生活に生かすことができる。【振り返り】</p>

### 5 指導と評価の計画（全 70 時間のうちのプロセス 2 18/70 時間）

時	学習内容 ◎他教科等とのつながり	評 価			
		知	思	主	評価規準（評価方法）
1	<p><b>課題の設定</b></p> <p>ふるさと祭りに自分たちがどのように関わると西城町をアピールできるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学習で西城町の特産品や観光名所などをふるさと祭りに来た人にどうやって伝えるか自分の考えをもつ。</li> </ul> <p>「見つける」をテーマに学習の見通しをもつ。</p>			○	主-①（行動観察、ワークシート）
2 3 4 5	<p><b>情報の収集</b></p> <p>地域の人から情報を収集する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと祭り実行委員の人から祭りに対する思いや願いを聞く。</li> <li>ふるさと祭りのステージ発表で何ができるか考えたり、グループに分かれて西城をアピールできる出店の内容を考えたりする。</li> <li>グループごとに出店内容を実行委員の人と相談しながら決める。</li> </ul> <p>地域の人たちの願いや、西城町をアピールする内容について情報を収集する。</p>	○	○	○	<p>課-⑦（行動観察、ワークシート）</p> <p>課-⑩（行動観察、ワークシート）</p> <p>協-⑤（行動観察）</p>

6 7 8 9	<p><b>整理・分析</b></p> <p>収集した情報をまとめて、ふるさと祭りのステージ発表と出店内容を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ステージ発表、出店の準備物等をグループごとに話し合い進めていく。</li> </ul>				○	課－⑪ (行動観察、ワークシート)
10 11	<p><b>実践</b></p> <p>自分たちが考えた内容を実践する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと祭りに向けて準備をして、当日参加する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>西城町をアピールできたか、想像していた祭りとの違いはないか考える。</p> </div>				○	主－①・② 協－⑤ (行動観察)
12 13 14	<p><b>情報の収集</b></p> <p>ふるさと祭りに来場した人について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当日来場していた児童や保護者からアンケートをとる。</li> <li>・実行委員の人から祭りについての思いを詳しく聞く。</li> </ul>				○	課－⑦・⑨ (行動観察・ワークシート)
15 16	<p><b>整理・分析</b></p> <p>アンケート、実行委員の人の話を聞いて分かったこと、考えられることをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちが予想していた内容と違いはないか、来年度祭りをするならどうしたらいいか情報をもとに考える。</li> </ul>				○	課－⑪
⑰	<p><b>まとめ・表現</b></p> <p>地域の人にふるさと祭りについてまとめたことを伝えながら来年度の祭りについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果や自分たちが当日感じたことをもとに良かった点や改善点などを伝える。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>地域の人と一緒に来年度のふるさと祭りについて考える。</p> </div>				○ ○	協－⑤ 課－⑪ (行動観察・ワークシート)
18	<p><b>振り返り</b></p> <p>プロセス2の活動を振り返り、次の活動につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと祭りに参加してふるさと祭り意義について気づくことができる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>西城町を盛り上げるために祭り以外に何が自分たちにできるかという新たな課題をつかむ。</p> </div>				○	課－⑦ (ワークシート)

6 本時の学習

(1) 本時の目標

ふるさと祭りの成果と課題についてまとめたことを、根拠をもとに自分の考えをもちながら地域の人と話し合うことができる。

(2) 本時のルーブリック

評定	児童の姿
A	根拠をもとに自分の考えをもちながら地域の人と話し合い、考えを深めることができる。
B	根拠をもとに自分の考えをもちながら地域の人と話し合いをすることができる。
C	根拠をもとに地域の人と話し合うことができる。

(3) 学習の流れ (17 時間目 / 全 18 時間)

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」と判断した児童への指導の手立て) (◎深い学びを実現するための指導の手立て)	評価規準 (○) 資質・能力 (★) (評価方法)
1 前時までの学習を振り返る。 自分たちが祭りに参加して考えたこと、アンケート結果から分かったことまとめている。	◆学習の足跡や成果物を提示して振り返る。	
2 本時のめあてを確認する。		
今年のふるさと祭りを分析し、来年のふるさと祭りについて話し合おう。		
3 2グループに分かれて話し合う。 【ふるさと祭りについて】 ・良かった点 ・課題 ・アンケート結果 ・アンケート結果から気づいたこと ・来年度の祭りについて ・その他	◇自分たちの考えたことを発表するだけでなく、話し合いになるように意見を言い合うようにする。 ◎ゲストティーチャーと事前に打ち合わせを行い、児童が考えやすい質問を用意していただく。 ◆机間指導で積極的に考えを伝えるよう声掛けをして促す。	○根拠をもとに自分の考えを伝えながら話し合いをしている。 ★課題解決力 (ワークシート、発言)
(予想される児童の考え) ・アンケートから分かるように、もっとステージ発表が多い方が盛り上がると思う。 ・真夏のお昼は暑くて祭りに来ることが難しいという意見があったので秋に開催したらいい。 ・中学生や高校生にも参加してもらおうと来場者が増えると思う。		
4 話し合った内容を共有する。 グループで話し合ったことを発表しあう。	◎自分たちのグループと比べて、他のグループの内容を聞くことで、新たな視点に気付かせる。	
5 本時を振り返り、次時につなげる。		
(児童の振り返り例) ・アンケートの意見を元に、地域の人声から来年の祭りについて考えて伝えることができた。 ・アンケートから祭りで、小学生がしているお店としっかりと伝わるような工夫を考えなくてはいけないことに気づいた。 ・地域の人に自分の考えを伝えることができたので来年の祭りに生かしてもらえたらうれしい。		

(4) 板書計画

課 今年のふるさと祭りから来年度のふるさと祭りについて話し合おう。

ふるさと祭り

たこやき  
(写真)

アイス  
(写  
真)

輪投げ  
(写  
真)

体験して気づいたこと

- ・○○○○○○○
- ・△△△△△△
- ・××××××

アンケート

- 西城町民○○人
- ・△△△△△△
  - ・××××××

話し合い

A班

B班

